

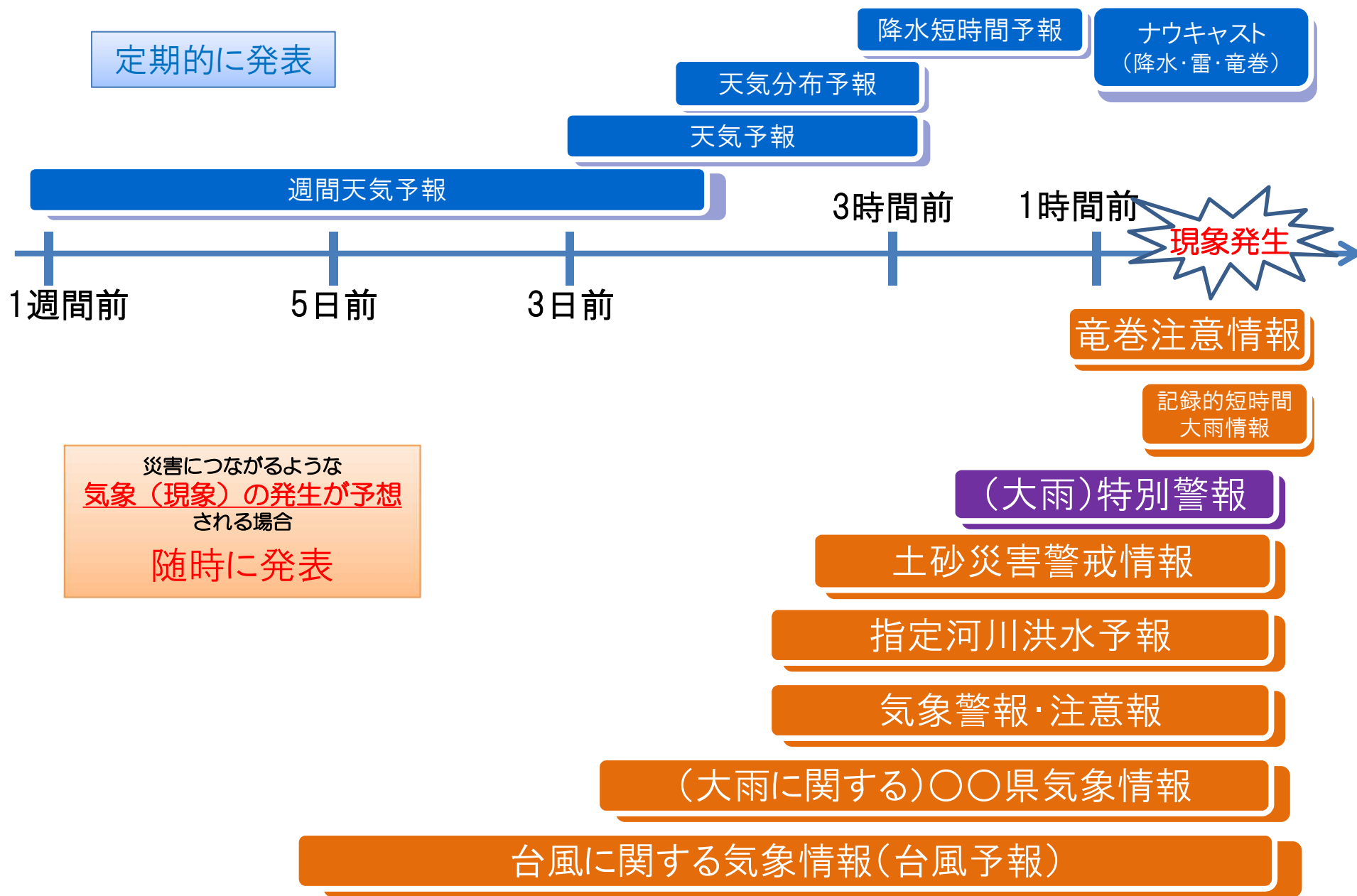


大雨から身を守るための防災気象情報

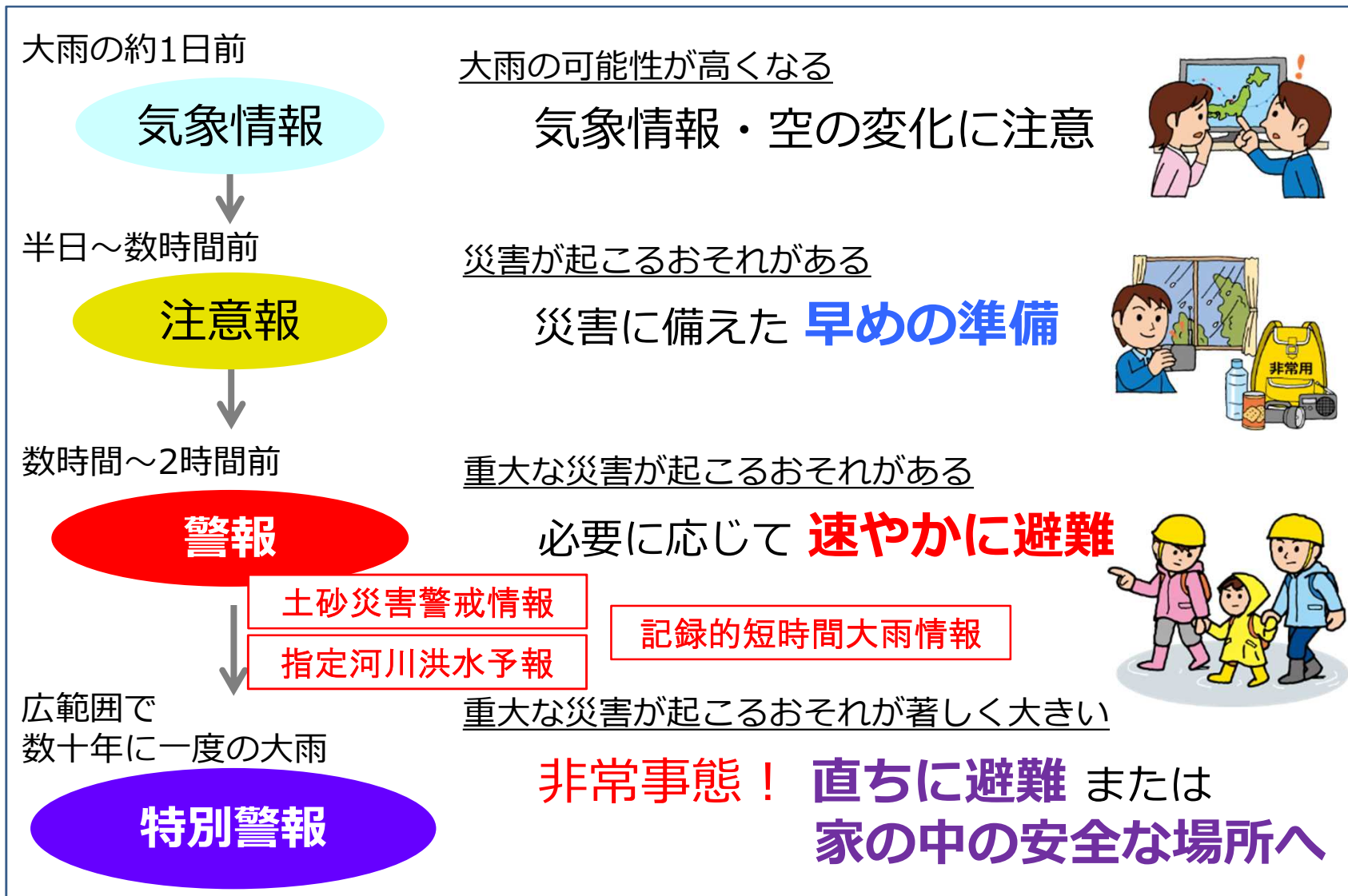


第5回木曾川下流水防災協議会
令和元年5月26日
名古屋地方気象台長 松村 崇行

段階的に発表される防災気象情報



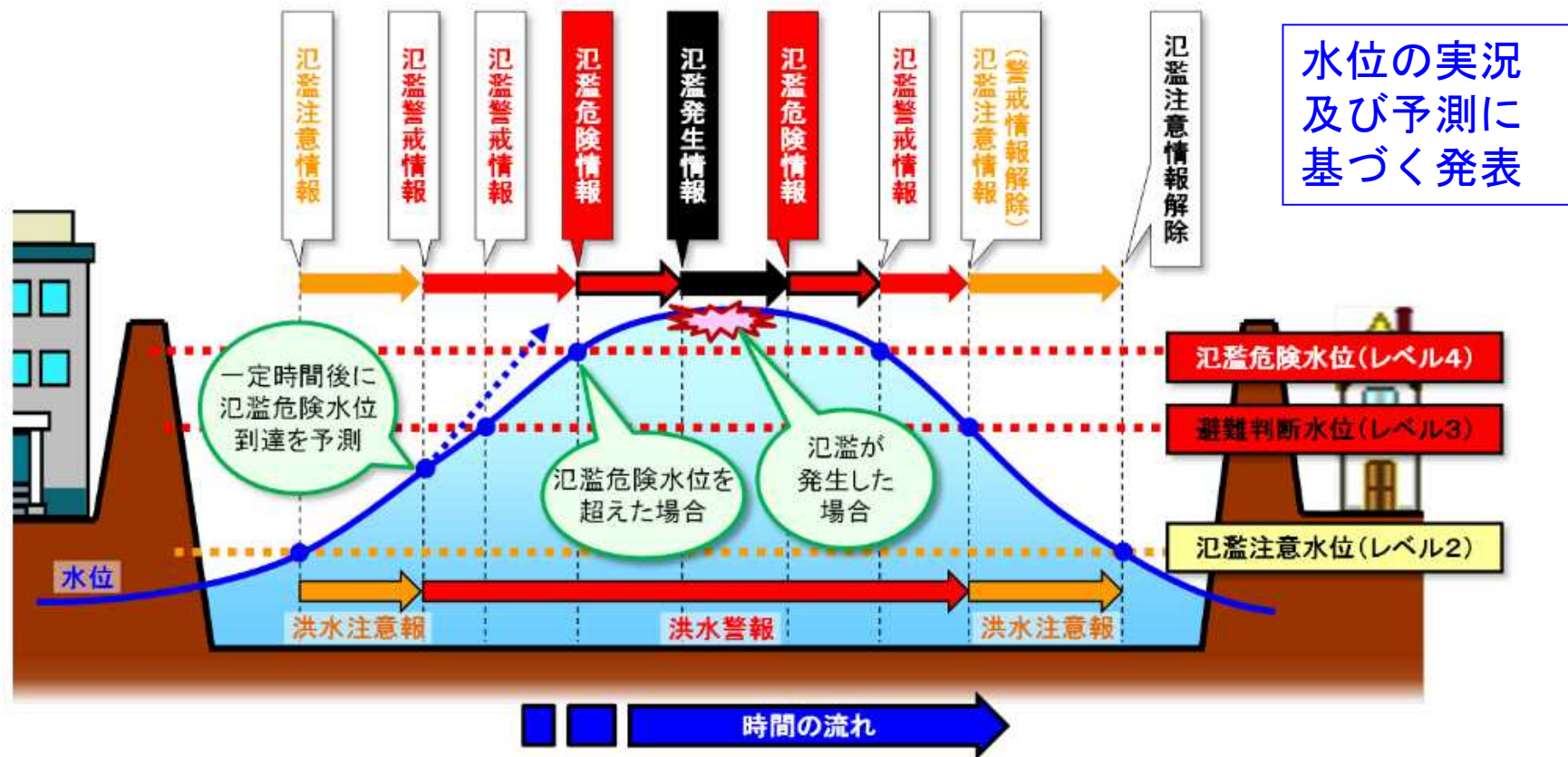
段階的に発表される防災気象情報



重大な災害：被害が広範囲または激甚な災害

指定河川洪水予報

洪水予報の標題(種類)	発表基準	市町村・住民に求める行動の段階
〇〇川氾濫発生情報 (洪水警報)	氾濫の発生(レベル5) (氾濫水の子報*)	氾濫水への警戒を求める段階
〇〇川氾濫危険情報 (洪水警報)	氾濫危険水位(レベル4)に到達	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める 段階
〇〇川氾濫警戒情報 (洪水警報)	一定時間後に氾濫危険水位(レベル4)に到達が見込まれる場合、あるいは避難判断水位(レベル3)に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階
〇〇川氾濫注意情報 (洪水注意報)	氾濫注意水位(レベル2)に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	氾濫の発生に対する注意を求める段階



警戒レベルの目的・概要

H30.12.26 平成30年7月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関するワーキンググループ報告書より

- 住民がとるべき行動を5段階に分け、情報と行動の対応を明確化。
 - **【警戒レベル3】高齢者等避難、【警戒レベル4】全員避難とし、避難のタイミングを明確化**
 - 命を守る行動のために極めて有効な災害が実際に発生しているとの情報を、**【警戒レベル5】災害発生として位置付ける**。
- 様々な防災気象情報と警戒レベルとの関係を明確化し、住民の自発的な避難判断等を支援

[避難のタイミングを明確化]

警戒レベル3: 高齢者等避難

警戒レベル4: 全員避難

警戒レベル	住民がとるべき行動	行動を促す情報
警戒 レベル5	命を守る最善の行動	災害発生情報 (出来る範囲で発表)
警戒 レベル4	避難	・避難勧告 ・避難指示(緊急)
警戒 レベル3	高齢者等は避難 他の住民は準備	避難準備・高齢者等避難開始
警戒 レベル2	避難行動の確認	注意報
警戒 レベル1	心構えを高める	警報級の可能性

防災気象情報

指定河川洪水予報
土砂災害警戒情報
警報
危険度分布

等

詳細は後述の資料で

防災気象情報と警戒レベル

「避難勧告等に関するガイドライン」(内閣府 平成31年3月)より

警戒レベル：災害発生のおそれの高まりに応じた住民のとるべき行動の段階

警戒レベル	住民が取るべき行動	住民に行動を促す情報		住民が自ら行動をとる際の判断に参考となる情報 (警戒レベル相当情報)		
		避難情報等		洪水に関する情報		土砂災害に関する情報
				水位情報がある場合	水位情報がない場合	
警戒レベル5	既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとる。	災害発生情報※1 ※1可能な範囲で発令		氾濫発生情報	(大雨特別警報(浸水害))※3	(大雨特別警報(土砂災害))※3
警戒レベル4	・指定緊急避難場所等への立退き避難を基本とする避難行動をとる。 ・災害が発生するおそれが極めて高い状況等となっており、緊急に避難する。	・避難勧告 ・避難指示(緊急)※2 ※2緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令		氾濫危険情報	・洪水警報の危険度分布(非常に危険)	・土砂災害警戒情報 ・土砂災害に関するメッシュ情報(非常に危険) ・土砂災害に関するメッシュ情報(極めて危険)※4
警戒レベル3	高齢者等は立退き避難する。 その他の者は立退き避難の準備をし、自発的に避難する。	避難準備・高齢者等避難開始		氾濫警戒情報	・洪水警報 ・洪水警報の危険度分布(警戒)	・大雨警報(土砂災害) ・土砂災害に関するメッシュ情報(警戒)
警戒レベル2	避難に備え自らの避難行動を確認する。	洪水注意報 大雨注意報		氾濫注意情報	・洪水警報の危険度分布(注意)	・土砂災害に関するメッシュ情報(注意)
警戒レベル1	災害への心構えを高める。	警報級の可能性 ※平成31年出水期から「早期注意情報」という名称も用いる				


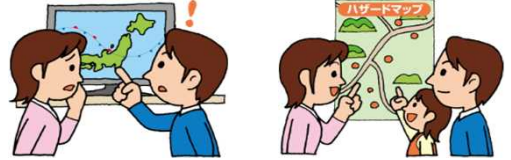




※3 大雨特別警報は、洪水や土砂災害の発生情報ではないものの、災害が既に発生している蓋然性が極めて高い情報として、警戒レベル5相当情報〔洪水〕や警戒レベル5相当情報〔土砂災害〕として運用する。
ただし、市町村長は警戒レベル5の災害発生情報の発令基準としては用いない。

※4 「極めて危険」については、現行では避難指示(緊急)の発令を判断するための情報であるが、今後、技術的な改善を進めた段階で、警戒レベルへの位置付けを改めて検討する。

注) 市町村が発令する避難勧告等は、市町村が総合的に判断して発令するものであることから、市町村の避難勧告等の発令に資する情報が出されたとしても発令されないことがある。

注) 土砂災害警戒判定メッシュ情報(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)、都道府県が提供する土砂災害危険度をより詳しく示した情報をまとめて「土砂災害に関するメッシュ情報」と呼ぶ。

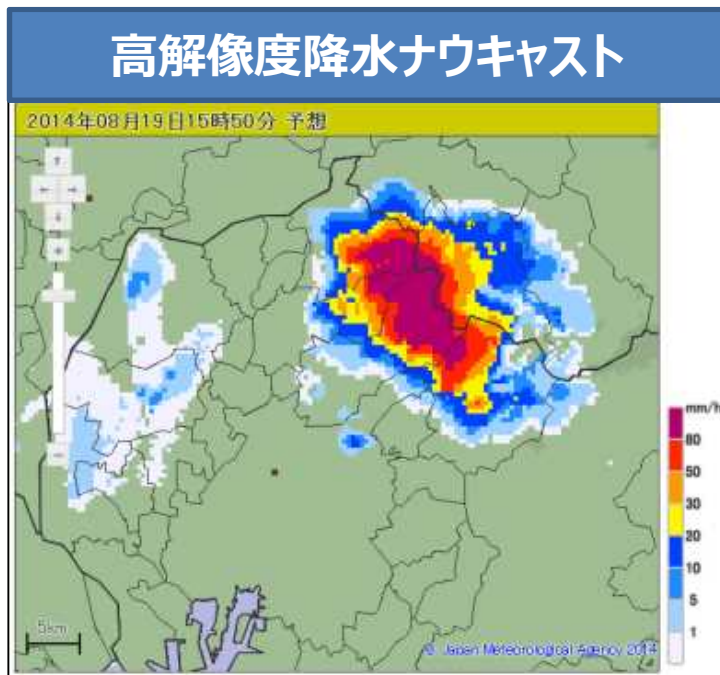
段階的に発表される防災気象情報の活用例

気象状況	気象庁の情報	市町村の行動(例)	住民の行動(例)
<p>大雨の数日 ～ 約1日前</p>	<p>数日後までに 警報級の現象発生の 可能性が予想され、大雨 の可能性が高くなる</p>  <p>天気予報の 発表地域 ごとに発表</p>	<p>気象情報 (随時)</p> <ul style="list-style-type: none"> 心構えを一段高める 職員の連絡体制を確認 今後の気象状況に注意 	<ul style="list-style-type: none"> 気象情報やハザードマップを確認 心構えを一段高める 土砂災害警戒区域等の危険な箇所を把握 避難場所や避難経路を確認 
<p>大雨の 半日～ 数時間前</p>	<p>雨が降り始める</p> <p>大雨注意報 【警戒レベル2】</p> <p>市町村単位 で発表</p>	<p>危険度分布</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害準備体制 (連絡要員を配置、防災気象情報を把握) 災害注意体制 (避難準備・高齢者避難開始の発令を 判断できる体制) 	<ul style="list-style-type: none"> 最新の情報を把握して、災害に備えた 早めの準備 避難行動に支援を必要とする方は、早め の避難 
<p>大雨の 数時間～ 2時間 程度前</p>	<p>雨が強さを増す</p>  <p>大雨となる</p>  <p>大雨が一層 激しくなる</p>  <p>広い範囲で 数十年に一度の 大雨</p> <p>大雨警報 【警戒レベル3 相当情報】</p> <p>市町村単位 で発表</p>	<p>【警戒レベル4 相当情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要地域に避難準備・高齢 者等避難開始【警戒レベル3】 災害警戒体制 (避難勧告の発令を判断できる体制) 必要地域に避難勧告【警戒レベル4】 災害対策本部設置 必要地域に避難指示(緊急) 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体が発表する避難に関する情報に 留意し、速やかに避難 高齢者等は立退き避難【警戒レベル3】 その他の者も立退き避難の準備をし、 自発的に避難 立退き避難を基本に全員避難【警戒レベル4】
	<p>大雨 特別警報 【警戒レベル5 相当情報】</p>	<p>記録的短時間大雨情報</p> <p>土砂災害警戒情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別警報の住民への周知 避難指示(緊急)等の対象区域を 再度確認 	<ul style="list-style-type: none"> 避難しようとした時に屋外に出るとかえって 生命に危険が及ぶと判断した場合は、屋内の 高いところで、山からできるだけ離れた頑丈な 部屋等で待避

高解像度降水ナウキャスト・危険度分布

気象庁ホームページで提供

<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/index.html>

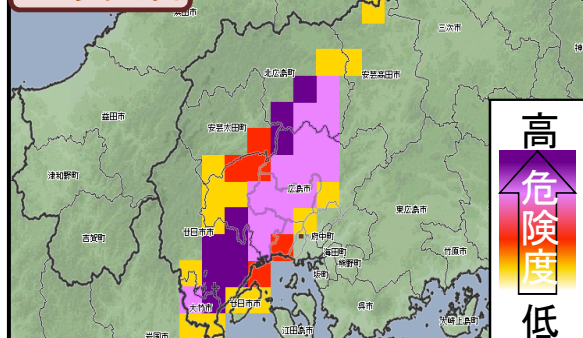


メッシュ情報を活用
してより危険度の
高まっている地域を
把握する！



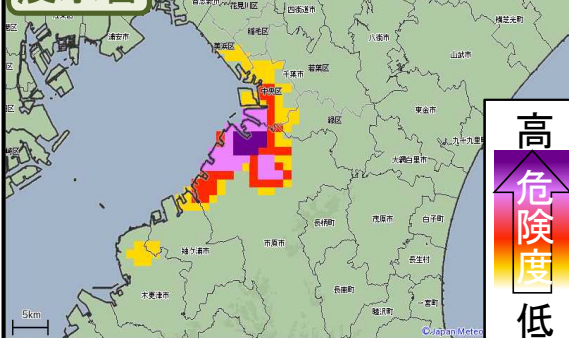
2014年08月20日01時30分

土砂災害



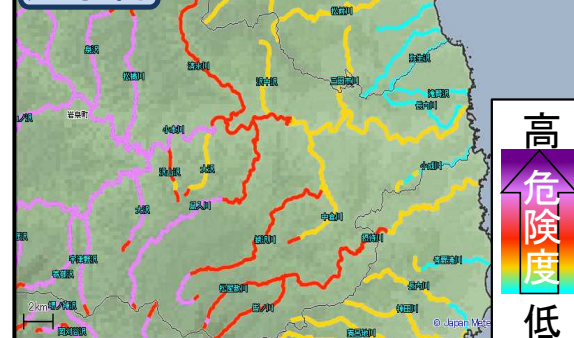
2016年07月15日11時00分

浸水害



2016年08月30日14時50分

洪水害



台風の予報(強度予報を5日先まで延長)



平成31年3月14日から台風の強度(中心気圧・最大風速)の予想を5日先まで行うようにしました



気象庁ホームページで提供
<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

雨が降ってきたら

高解像度降水ナウキャスト



雨雲の動きや危険度分布が見られます

<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/index.html>



ご清聴ありがとうございました